

## 総括報告のプログラム

2011年12月1日(木), 多目的ホール

13:00-13:30

### 「東日本大震災における海岸林・沿岸域の破壊実態と津波減衰効果」

東北学院大学 地域構想学科 宮城豊彦

今回の震災時に発生した大津波では、海岸林にも壊滅的ともいえる被害が生じ、漂流木化した樹木が建物などを大きく破壊した。ここでは、地震発災時から津波襲来時までの間に、海岸林とその立地地盤が、どう破壊を蒙ったのかを整理する。その上で、今回の破壊には、「地震時に端を発する土地条件に関係した破壊」と「津波流体力に関係した破壊」の双方が生じていたことを指摘したい。両者の破壊実態を明らかにすることでテーマに掲げたことを考察する縁としたい。

13:30-14:20

### 「地震・津波によって発生したがれきや残壊物の地盤材料への利用技術、ならびに放射性物質汚染土壌・廃棄物への対応」

地盤工学会 東日本大震災対応 地盤環境研究委員会

京都大学大学院 地球環境学堂 勝見 武

国立環境研究所 遠藤和人

産業技術総合研究所 保高徹生

東北工業大学 工学部 今西 肇

東日本大震災では、膨大な量の瓦礫、残壊物、および津波堆積物の処理と有効利用の問題、同じく膨大な量に達するとみられる放射性物質で汚染された土壌や廃棄物の処理、広域地盤沈降や冠水の長期化による環境衛生問題など、様々な地盤環境課題が顕在化している。地盤工学会東日本大震災対応地盤環境研究委員会では、これらの課題の分析と対応の現状について調査研究を進めており、専門家以外にも極力わかりやすい形で現時点の成果を報告、考察する。

14:20-14:50

### 「地震災害から住環境の再生に向けての地盤工学技術の課題」

日本大学 工学部 中村 晋

岩手大学 工学部 大河原正文

東北大学 大学院工学研究科 森 友宏

東日本大震災における岩手・宮城・福島の3県で生じた地盤災害事例を示し、その特徴を説明紹介する。また、住環境の基礎地盤の再生に向けての地盤工学技術についての課題を解説し、考察する。